

「あいち食育いきいきプラン 2030」の進捗管理指標に係る取組

1 食を通して健康な体をつくるための指標

項 目	現状値	指標(2030)	所管課	2026 年度の県の主な取組
■ 朝食を毎日食べる習慣がある小中学生の割合 ※1	92.2%(2025)	100%	健康対策課 保健体育課	○学校全体で食育に取り組むための指導充実に向けた指導者の育成 ○「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発 ○朝ごはんコンテストの実施
■ 何でも噛んで食べることができる成人の割合 ※2	82.3%(2022)	90%	健康対策課	○全ての世代のむし歯予防の推進 ○若い世代からの歯周病予防の啓発 ○こどもの口腔機能の発達支援、高齢者のオーラルフレイル予防の啓発
■ 1日当たりの野菜摂取量 ※3	265g (2019・2022)	350g	健康対策課	○外食等を利用する機会においても野菜料理を選択できる環境づくりの推進



2 食を通して豊かな心を育むための指標

項 目	現状値	指標(2030)	所管課	2026 年度の県の主な取組
■ 1日最低1食、家族や友人等と一緒に楽しく食事をする人の割合 ※4	80.4%(2025)	86%	食育消費流通課	○家族・友人と一緒に食事をする「おうちでごはんの日」の啓発 ○子ども食堂への支援 ○生活支援サービスの実施状況把握と情報提供
■ 農林漁業体験学習や県等が実施する体験イベントの参加者数 ※4	7.4万人(2024)	7.8万人	食育消費流通課 保健体育課	○「農林漁業体験学習実践マニュアル」と「地域協力者一覧」の周知 ○農林水産業の理解醸成に向けたイベントの開催 ○農林漁業体験等の食育活動への支援
■ 郷土料理等の食文化を家庭や地域で次世代に伝えている人の割合 ※5	41.7%(2025)	50%	食育消費流通課	○アジア・アジアパラ競技大会と連携した食文化等のP R ○愛知県茶会の開催 ○「あいちの伝統野菜」と「あいちの漬物」のP R



3 食を通して環境に優しい暮らしを築くための指標

項 目	現状値	指標(2030)	所管課	2026 年度の県の主な取組
■ むだや廃棄の少ない食事づくりを積極的に行っている人の割合 ※5	56.7%(2025)	60%	食育消費流通課	○食品ロス削減イベントの開催 ○「あいちエコアクション・ポイント事業」の実施 ○インフルエンサーで結成するP R隊による情報発信
■ 学校給食において全食品に占める県産食品の割合(金額ベース) ※6	54.7%(2024)	57%	保健体育課	○学校給食への県産農産物の供給体制構築の促進 ○「愛知を食べる学校給食の日」の実施とその内容の周知
■ 県産農林水産物を優先して購入する県民の割合 ※4	49.2%(2025)	55%	食育消費流通課	○Web サイトによる直売所の情報提供 ○アジア・アジアパラ競技大会と連携した県産農林水産物のP R ○「あいちの農林水産フェア」の開催 ○「地産地消デジタルスタンプラリー」の実施



4 食育を支えるための指標

項 目	現状値	指標(2030)	所管課	2026 年度の県の主な取組
■ 食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 ※4	6.8万人(2024)	12万人	食育消費流通課	○食育の実践を呼びかけるためのシンポジウムの開催 ○食育推進ボランティアの登録と活動支援(情報発信による登録促進、地域食育推進ボランティア研修交流会の開催、活動における学校や企業との橋渡し)



出典 ※1 全国学力・学習状況調査(文部科学省) ※2 NDBオープンデータ(匿名医療保険等関連情報データベース:厚生労働省) ※3 国民健康・栄養調査参考(厚生労働省)
※4 県農業水産局調べ ※5 県「消費生活モニター」アンケート調査 ※6 学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査(文部科学省)